

学勢調査

学勢調査2020

学生スタッフ説明会
〇/〇〇 〇〇:〇〇~
At zoom

代表：理学院物理学系3年 吉田拓暉

皆さん、本日はお集まりいただきましてありがとうございます。
これより、学勢調査2020の学生スタッフ説明会を行いたいと思います。
私は、現在学生スタッフ代表を務めさせていただいております、理学院物理学系学士課程3年の吉田です。よろしく願いいたします。



内容

1. 学勢調査とは？
2. 学生スタッフの活動内容

本日は二点、学勢調査とはそもそも何なのかと、学生スタッフがどのような活動を行っているのかについてお話していこうと思います。
ただ、本説明会は学生スタッフについての説明会ですので、後者に重きを置いてお話していこうと思います。

学勢調査とは？

まず、そもそも学勢調査とはいったい何なのか、ご存じでない方もいらっしゃると思いますので、こちらから説明させていただきます。



2年に一度の**全学生**対象Webアンケート



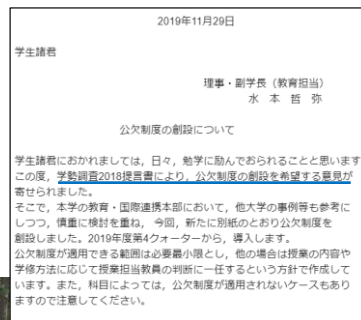
学勢調査は2年に一度、全学生を対象に行われるWebアンケートです。東工大の学生と大学をつなぎ、学生の声を大学に届けることを目的として行われます。現在行っているアンケートでデータや意見を集め、それを学生スタッフから「提言」という、「ここに不満を持っている人がたくさんいます。こうしたらどうですか？」といった提案の形にして大学に提出する。ということを行っています。

ところで、気になった方もいらっしゃるかもしれませんが、学勢調査の漢字は通常の「学生」とは異なり、二文字目に「勢い」という漢字を用いています。パソコン等の変換で大変ミスしやすいですが、これにはちゃんと意味があって、これは政府が行う「国勢調査」をもじって、東工大生の「形勢」を知ることのできる調査になるように、という思いが込められて、この名前になっています。ちょっとしたことですが、これから学勢調査と入力することがあったら、気を付けてみてくださいね。

1. 学勢調査とは？

過去の実績

- 履修申告・成績確認のオンライン化(2008年度)
- 図書館利用時間の延長(2014年度)
- 公欠制度の新設(2018年度)
- キッチンカーの導入(2018年度)



さて、学勢調査は学生の声を大学に届けるための活動だ、と申しましたが、実際、声を届けた程度でどれほどの変化が起こるのか怪しいもんだ。と思う方もいらっしゃるでしょう。そこで、学勢調査の提言によって実際に大学が動いてくれた例をいくつか挙げてみました。

つい最近まで東工大には公欠制度すらなかった、つまり、インフルだろうが何だろうが公欠扱いにはなっていなかったなんて、にわかには信じがたいですよ。また、新入生の方はまだご存じないかと思いますが、昨年から本館脇に突如現れたキッチンカー、あれも学勢調査での提言によって実現したもののなのです。

もちろん、お金の絡むことでもありますし、大学側の都合もあるので、行った提案がすべて実現されるわけではありません。しかし、中には大きな変化を促すものがあったり、そうでなくても数年にわたる積み重ねが、少しずつ実を結ぶ、なんてこともあります。何も言わなければ何も伝わらないのですから、学勢調査という活動を続けていくことこそが大切なんだろうと思っています。



学生スタッフの活動

以上が学勢調査それ自体についての説明でした。

ここからは、本日の主題である、学生スタッフというものが何なのか、どんな活動をしているのかについてお話していこうと思います。



学勢調査学生スタッフの方針

学生の「生の声」を大学に

活動頻度などの具体的なお話の前に、まずは少し抽象的なお話から。

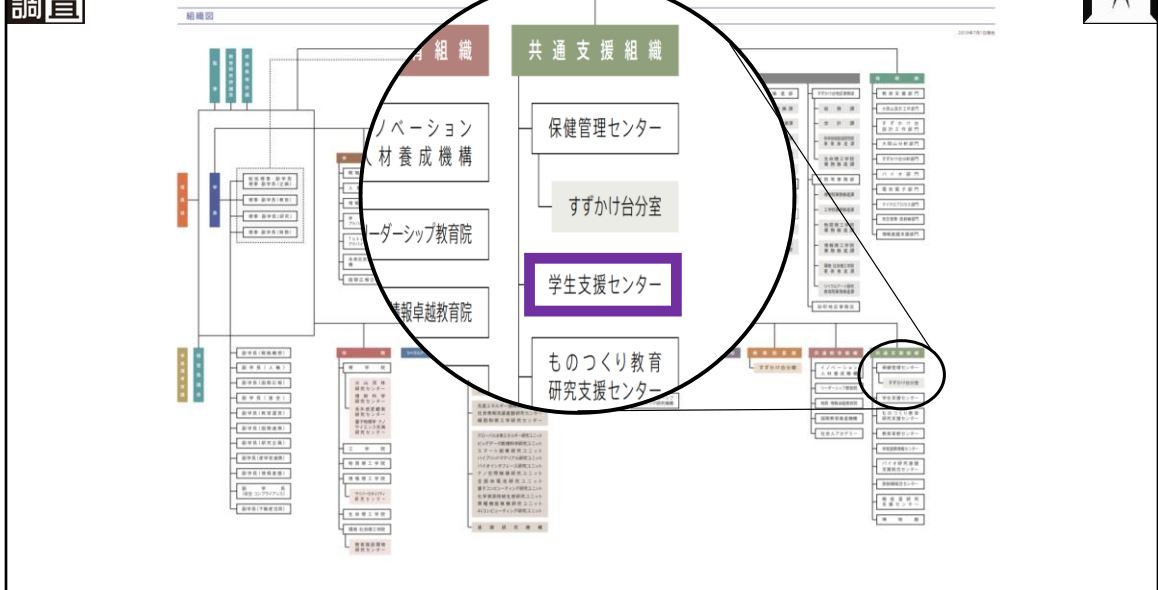
学勢調査作成スタッフがどんなことを目指して活動しているのかについてです。

学勢調査はそもそも学生の意見を大学に届けるために行われている調査です。したがって、学生スタッフは、学生のありのままの「生の声」を大学に届けるために活動しなければなりません。

提言しても実現されなさそうで、実績に繋がらなそうな事でも、学生の実情を伝えることを第一に、情報を整理し、届ける。というのが根本となる活動方針になっています。

まずは皆さんにこの点についてしっかりご理解いただきたいと思います。

2. 学生スタッフの活動

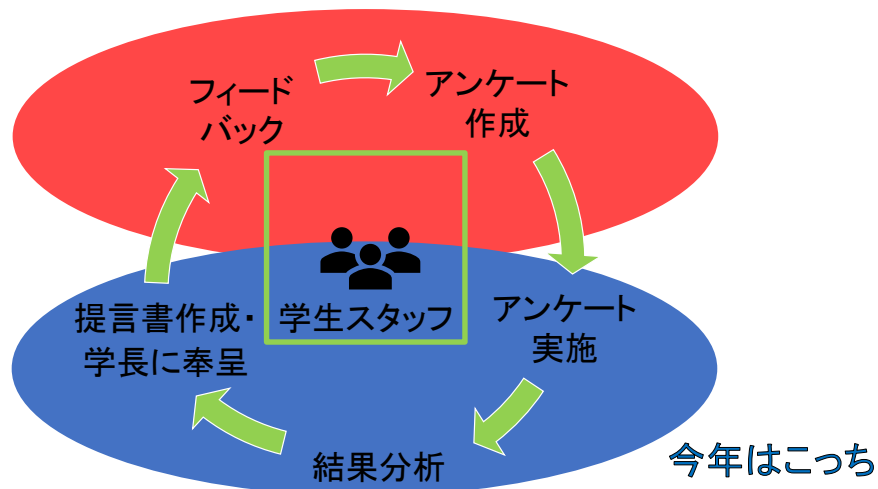


では次に、学勢調査学生スタッフがどのような団体なのかについてお話します。

この図は東工大の組織図です。細かい部分は見えないと思いますが、注目していただきたいのは、ここに見える「学生支援センター」という組織です。学生スタッフは、この「学生支援センター」の中の、自律支援部門という部門が支援している学生主体の活動の一つです。つまり、学生スタッフは大学に属する公的組織で、サークル等とは少し毛色が違ってきます。そのため、学生スタッフのミーティング出席や提言の作成など、仕事に対しては賃金が支払われます。

(図はデータブック2019-2020

https://www.titech.ac.jp/about/overview/pdf/databook2019_20.pdf より)



続いて、学生スタッフの仕事について、大まかな流れを説明いたします。

こちらの図で、赤と青、二つの楕円が見えると思いますが、これはそれぞれが一年間を表しています。

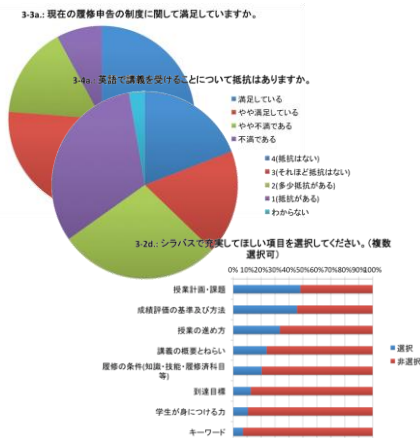
今年は、今、アンケートを実施しているところですので、この、下の青い楕円の年に当たります。

アンケートを行い、その結果がまとまったら、結果の分析に入ります。そしてその分析をもとに、「提言書」という、現状の問題点、それについての学生の声、そして問題を解決するための具体的な方法案をまとめた文書を作成し、学長に直接奉呈します。ここまでが、この一年の活動で、次の年になったら、その年はアンケート調査を行わないので、前年の提言に対して大学がどのように反応して、何が変わり、また、何が変わらなかったのかということを取り入れながら、じゃあ次の年にはどんなことを聞いたらいいのだろう。と、次のアンケートの作成を行います。

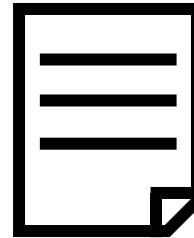
この2年周期のサイクルが学生スタッフの活動になります。



結果の分析



自由記述



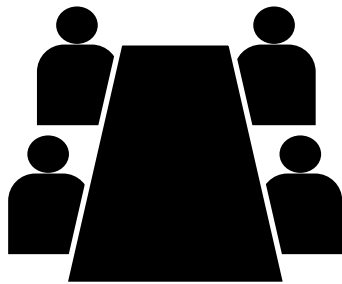
ではもう少し詳しく、学生スタッフの活動についてみていきましょう。

まず、アンケートの結果が返ってきたら、その結果について分析を行います。アンケート結果は当然だれがどのような選択肢を選んだかについての数値的なデータも大量に集まるのですが、それと同じ、もしくはそれ以上に大切なのが自由記述で寄せられる意見です。例年、超長文の記述をしてくださる方など、問題意識の高い方ほどしっかりとした記述をしてくださり、普段気づかないような隠れた問題点に取り組む絶好の機会を与えてくれるのがこの自由記述です。こちらについても膨大な量がありますので、分担して読んで、主要なもの、重複の多い意見について抽出して考察します。

これらのデータをもとに浮かび上がってきた問題点について、こうしたらどうですか？という意見、現状をまとめたラフな「提言」を作成します。学生の視点から、どのような変更をしてほしいのかを、文章にまとめます。



キャンパスミーティング



各部門の方とのミーティング。
大学側の事情や考えを知る機会。

例)学勢調査2018「成績分布の公開と成績評価監査委員会の設置」より

Q2. 成績評価の判断基準や成績分布に過度な偏りがあるかなどの判断は講義の担当教員に一任しているのでしょうか。

A2. 偏りがあった場合の対応について専門科目は系やコースで、教養科目は実施委員会で方針を決めている場合があります。例えば英語科目は実施委員会として方針を定めており、委員会内で確認を行っています。特に方針を定めていない場合は授業担当教員に一任ということになります。どのような科目が方針を定めているかについて全ては把握できていません。

そうしてある程度「提言」が出来上がったとします。しかしそれはあくまで学生側の都合だけを配慮したものにすぎません。大きな変化を促す場合、当然お金の問題が入ってきたり、担当各所にもそれぞれの言い分と都合があります。私たちがそこまで完全に配慮した提言をすることは独力では不可能でしょう。

そこで、学生スタッフはキャンパスミーティングと呼ばれる、「提言」の内容と関係のある部署の方とのミーティングを行います。このような問題に対して、こうしたらよいのではないですか？という提言に対し、その部門の方のお話も伺い、大学側の事情も知ることによって、学生の要望を押し付けて終わり。ではなく、一歩進んだ、より精密な提案ができるようになります。

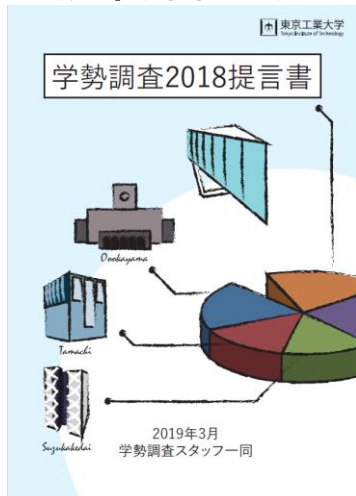
例として、ここでは前回学勢調査でのキャンパスミーティングのやり取りについて紹介します。

成績分布を公開し、クラスによる不平等がなくなるようにしてほしい、という提言が主なものですが、そもそも成績評価や偏りの有無の判断はどこが行っているのか？という質問に対して回答していただいています。このように、学生が持つ不確かな情報を確認して、しっかりとしたベースを築かなくては、どこをどう変えたらよいのか全く分かりません。このように、提言を

洗練するにあたって、キャンパスミーティングは欠かすことができません。



提言書の作成



〈内容〉

- 提言(20～50個くらい。年による変動大)
 - 成績分布の公開と成績評価監査委員会の設置
 - 公欠制度の創設
 - キッチンカーの誘致
 - OCW-iの改善
 - 防災訓練の改善

etc...

- データ

キャンパスミーティングを経て、提言が洗練されたら、それらをまとめて提言書という一冊の冊子を作成します。

これは去年の物ですが、提言としてはただいま紹介しました成績分布公開の話や、初めに紹介いたしました公欠制度やキッチンカーについての提言などが収められています。

作成する提言の個数はその年によって学生スタッフの人数規模が大きく変動したり、提言作成の方針が年ごとに違ったりするので大きなばらつきがありますが、一人当たりが初めに作成するラフな提言は2,3個といったところです。そこから洗練をして実際に提言書に載せるものを選んでいきます。

奉呈式



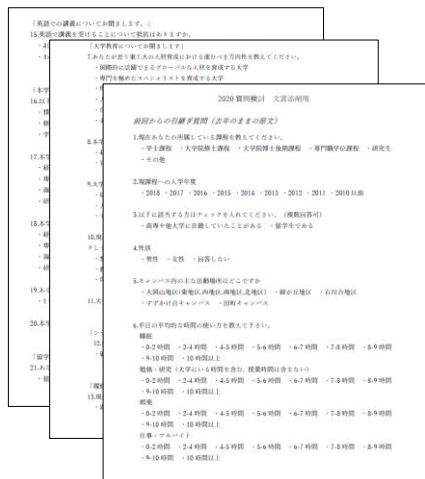
このようにして作成した提言書は学生の手によって学長に直接手渡されます。こちらが前回の奉呈式の様子になります。この時、短い時間ですが学長とも提言についてなど、意見交換をする場をいただけます。

(東工大ニュース <https://www.titech.ac.jp/news/2019/044094.html> より)

2. 学生スタッフの活動



質問作成



過去の質問を参考に列挙
→変更・調整

+

近況を鑑みて新規追加

継続すべき質問は何か
提言につながりそうな質問は何か

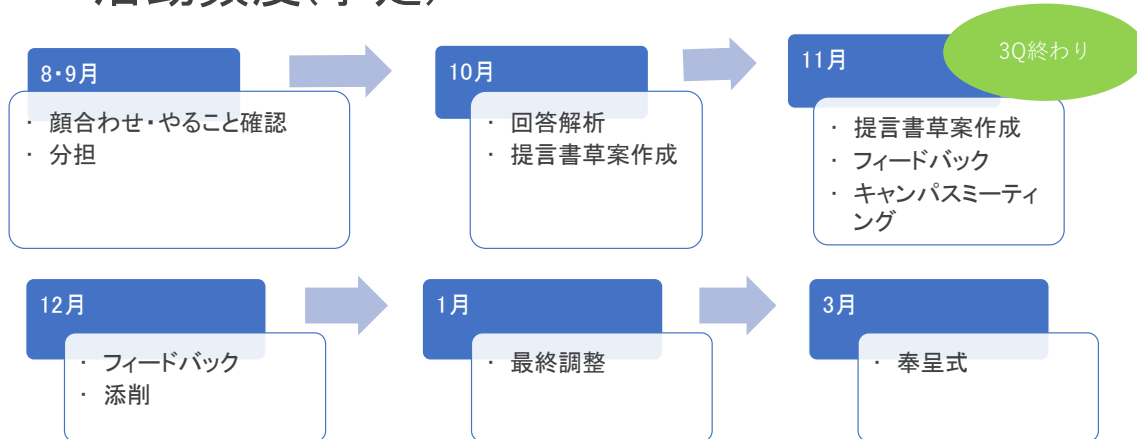
以上が今年の学生スタッフに関連のある活動についての説明ですが、一応、アンケート実施年ではない年の活動についても軽く説明させていただきます。

提言書に対するフィードバックがなされてきて、大学側の対応がわかってきたらそれを踏まえて次年度実施用の合アンケートの作成に入ります。過去の質問をもとに、何を残すのか、何を削るのかを検討し、また、社会情勢も鑑みて、どのような質問なら学生の不満を取りこぼさずに集めることができるのかを考えます。そして、最終的に語尾の調整やフォーマットなど細かなところまで調整をして、次の調査を迎える。という流れになっています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあって、実施直前に質問の審議、修正等を行いました。何とか間に合わせることができました。



活動頻度(予定)



ここまでは具体的な活動の内容についてお話してきましたが、ではこの後どのような活動を行っていくのか。活動の予定について最後にお話しします。

まず、この説明会の後、学生スタッフに参加したい！という方からの応募を受け、参加希望者の方には自律支援部門の先生方とzoomにて面接を行っていただきます。

それが無事済んだら、夏休み中の8月下旬から9月上旬に一度オンラインで集まって顔合わせや今年度の方針の決定を行い、9月中には結果分析の分担を行います。状況にもよりますが、このあたりで新型コロナウイルス感染症が収まっていて、通常の登校が可能になっているようでしたら、実際に集まってミーティングを行っていきたいと思っています。

10月からは本格的に結果の解析と提言の草案作成に取り組んでいきます。この辺りは多少個人作業が多くなると思います。

11月になったら、一度学生スタッフ内で提言についてフィードバックを行い、11月の終わりから12月にかけて(予定)キャンパスミーティングを行います。順当にいけばこの辺りが3Qの終わりになるので、登校が可能になっていれば、学士課程の方はテストがあるので、ここは少し忙しくなるかもしれません。

しかしそのあとはキャンパスミーティングでの反省を生かし、提言を仕上げるとともに調整を行い、翌年1月中に提言書を完成させます。そして3月に学長に奉呈。という流れになります。

あくまで予定ですが、9~12月は月に二回程度、一回1時間半~2時間程度のミーティングを行う予定です。なるべく多くのスタッフが参加できるような時間帯にミーティングは開催されます。

願わなければ叶いません
If you don't wish for it, it can't come true

学勢調査 2020 Student Survey

学勢調査とは
学生の皆さんからの意見を取り入れ、大学をよりよくするための全学生を対象に隔年で行われているアンケートです
We are asking students to answer the "Student Survey" every other year to collect your opinion in order to make improvements and enhance Tokyo Tech in many aspects.

過去の実績
学勢調査による提言でキッチンカー導入公欠制度の創出などが実現!
その他はHP, Twitterで!
@gokuseichousa

回答方法
6/22 (Mon) ~ 7/22 (Wed)
教務 web システムから回答できます!
Please answer the survey via Web system for S&F by July 22

学生スタッフ募集
アンケート結果を集計・解析し、大学への提言書を作成するスタッフを募集しています。(薄謝あり)
申し込みは回答後のページまたはこちらより

東京工業大学 学勢調査 2020 学生スタッフ
学生支援センター 自律支援部門 学勢調査担当
Student Initiative Support Division, Student Support Center
E-mail: gokuseichousa1@jim.titech.ac.jp

学生スタッフ 大募集中！！

以上で学勢調査2020学生スタッフについての説明を終わらせていただきます。

学生スタッフは、大学をよりよくするために活動できる仕事です。データの解析をやってみたいという方、自分の手で大学を変えたいという方。学生スタッフはいろいろな視点からの多様な考え方を必要としています。

ぜひ学生スタッフに参加して、一緒に学生の声を大学に届けていきませんか？